

14.4
60ホ

Ⓜ



始



米(メートル)或ハ佛尺凡三尺三寸
 耗(ミリメートル)凡三厘三毛
 外二湮(マイル)ハ海里凡十六町九分七厘五毛
 容 量
 利(リットル)凡五合五勺四才
 立方仙米(センチメートル)凡三十六立方分
 衡 量
 噸(トン)千六百八十斤
 号(オンス)凡七匁五分六厘
 哥(グロス)百四十四箇 合 數

仙米(センチメートル)凡三分三厘
 方呎(フット)凡一方尺〇一六八
 瓦(ガルロン)凡二升五合二勺
 擔(ピコル)凡百斤
 瓦米(グラム)凡二分六厘六毛
 打(ダズン)十二箇

明治四
 十三年

島根縣隱岐島統計書目次

第一門 土地	一頁	(一)	戸數及人口	一四
(一) 地勢	二	(二)	現住戸口累年比較	一五
(二) 沿革	三	(三)	出入寄留	一六
(三) 經緯度極點	三	(四)	本籍人出生死亡及結婚離婚	一七
(四) 面積周圍廣袤	三	(五)	外國出稼人	一八
(五) 氣溫(攝氏)	四	(一)	第三門 位勳及褒賞	
(六) 天氣	五	(一)	有位人員	一九
(七) 山嶽	五	(二)	帶動人員ノ一	二〇
(八) 河川	六	(三)	帶動人員ノ二	二一
(九) 港灣	七	(四)	褒賞受領人員	二三
(一〇) 島嶼	八	(一)	第四門 社寺	
(一一) 地目反別ノ一(官有)	八	(二)	神社及神職	二四
(一二) 地目反別ノ二(民有)	九	(三)	寺院及住職	二五
(一三) 民有地々價	一〇	(一)	第五門 土功	
(一四) 民有免租地反別	一〇	(二)	道路ノ延長	二七
(一五) 町村區別	一一	(三)	道路ノ新設改修及修繕	二八
第二門 戶口	一二	(一)	第六門 救育	

目次

(一)	行旅病人及行旅死亡人	二九	(四)	町村歳出豫算	四六
(二)	公費救助	二九	(五)	四郷町外組合歳入決算	四九
第七門 司法			(六)	全上歳入豫算	四九
(一)	裁判區劃	三〇	(七)	全上歳出決算	四九
(二)	民事訴訟件數(初審)	三〇	(八)	全上歳出豫算	五〇
(三)	登記件數及登記料	三一	(九)	四郷町組合歳入決算	五〇
(四)	刑事被告人犯狀別(裁判確定ノモノ)	三二	(一〇)	外七村組合歳入決算	五一
第八門 警察及監獄			(一一)	全上歳出決算	五一
(一)	警察區劃	三四	(一二)	全上歳出豫算	五二
(二)	盜難及變死	三五	(一三)	町村基本財産	五二
(三)	火災	三六	(一四)	四郷町外組合財産	五三
(四)	消防	三七	(一五)	十村公債額	五四
(五)	取締ニ關スル諸營業	三九	(一六)	町村稅率及賦課額	五四
(六)	貸座敷娼妓	四〇	(一七)	本島ニ於ケル縣ノ歳入	五六
(七)	監獄	四〇	(一八)	全上縣ノ歳出	五六
第九門 財政			(一九)	全上國庫ノ歳入	五八
(一)	町村歳入決算	四一	(二〇)	全上國庫ノ歳出	五八
(二)	町村歳入豫算	四二	(二一)	國稅ノ一	六〇
(三)	町村歳出決算	四三	(二二)	國稅ノ二(地租ノ類別)	六一
			(二三)	町村收入滯納處分	六二
			(二四)	縣稅滯納處分	六三

(二五)	國稅滯納處分	六四	(一一)	大麻、菜類、楮皮、木實、榎實	八三
第十門 官吏及公吏			(一二)	梅實、桃實、柿實、梨實、杏實、栗實	八四
(一)	島廳吏員	六五	(一三)	蜜柑、椎實、椎茸、鷄、鷄卵、鶯	八五
(二)	町村吏員	六五	(一四)	桑、茶	八七
第十一門 議會			(一五)	蠶繭	八八
(一)	衆議院及縣縣會議員選舉有權者	六六	(一六)	農會	八九
(二)	町村會ノ一(組合會)	六八	第十三門 牧畜		
(三)	町村會ノ二(各町村會)	六八	(一)	牛馬	九一
(四)	町村會議員數及選舉有權者	六九	(二)	產牛、斃牛、屠牛	九一
第十二門 農業			(三)	產馬、斃馬	九三
(一)	農事試驗場	七一	(四)	種牡牛馬	九四
(二)	農戶數及農人口	七一	(五)	豚	九五
(三)	自作小作別田畑及農人口	七二	(六)	牛乳	九六
(四)	米	七四	(七)	獸醫及蹄鐵工	九七
(五)	麥	七五	(八)	產牛馬組合	九九
(六)	粟、稗、黍、蜀黍	七六	第十四門 山林		
(七)	玉蜀黍、蕎麥、甘藷、馬鈴薯	七八	(一)	公有林野	九九
(八)	大豆、小豆、豌豆、蠶豆	七九	(二)	社寺有及私有林野	一〇〇
(九)	大根、蕪、菜種、紫雲英	八〇	(三)	公有社寺私有林栽植ノ一(新植)	一〇二
(一〇)	茄子、南瓜、胡瓜、牛蒡	八二	(四)	全上ノ二(補植)	一〇三

(五)	公有社寺私有林伐採ノ一(用材)	一〇四	(二〇)	石炭消費高	一三二
(六)	全上ノ二(薪炭材)	一〇五	(一七)	第十七門 商業	
(七)	全上ノ三	一〇七	(一)	商戸數及商人口	一三二
	第十五門 漁業		(二)	輸 出	一三四
(一)	漁戸數及漁人口	一〇八	(三)	輸 入	一三六
(二)	漁 船	一〇九	(四)	重要輸出品價額累年比較	一三八
(三)	雜破漁船	一一一	(五)	物 價	一四〇
(四)	漁獲物	一一二	(六)	諸儲貸錢	一四三
(五)	水産製造物	一一六	(七)	會 社	一四五
(六)	水産組合	一二一		第十八門 金融	
	第十六門 工業		(一)	郵便貯金	一四六
(一)	工戸數及工人口	一二二	(二)	質 貸	一四七
(二)	蠶絲及眞綿	一二三	(三)	地所建物船舶賣買口數及金高	一四八
(三)	織物ノ一(家用)	一二四	(四)	貸付金	一四九
(四)	全上ノ二(販賣用)	一二五	(五)	預 金	一四九
(五)	用材及樹皮	一二六	(六)	金 利	一四九
(六)	木 炭	一二七	(七)	産業組合	一五〇
(七)	造 船(日本形)	一二八		第十九門 交通	
(八)	工業物雜類	一二九	(一)	里程ノ一(島廳下島外主要官衙間)	一五一
(九)	工場	一三一	(二)	里程ノ二(島廳下各村及主要港間)	一五一

(三)	車	一五二	(八)	中等以上ノ教育ヲ受ケシ者	一七一
(四)	船舶ノ一(西洋形船)	一五二	(九)	教育費累年比較	一七三
(五)	全上ノ二(日本形船)	一五三	(一〇)	學校資産	一七四
(六)	全上ノ三(五十石未満)	一五四	(一一)	教育諸會	一七五
(七)	船舶出入	一五六		第二十一門 兵事	
(八)	雜破船	一五七	(一)	陸軍在役人員	一七六
(九)	雜破船死傷及漂流人員	一五八	(二)	陸軍在役軍人兵種別ノ一(現役)	一七七
(一〇)	渡船場及營業者	一五九	(三)	全上ノ二(在郷者)	一七八
(一一)	郵便區劃	一六〇	(四)	海軍在役人員	一七九
(一二)	郵 便	一六〇	(五)	海軍在役軍人兵種別	一八〇
(一三)	小包郵便	一六一	(六)	徴兵人員	一八二
(一四)	電 信	一六二	(七)	壯丁検査成績	一八三
	第二十門 教育		(八)	軍人恩給及勳章年金並賜金	一八四
(一)	學校及職員	一六三	(九)	赤十字社	一八五
(二)	小學校教員俸給別	一六五		第二十二門 衛生	
(三)	小學校教員加俸	一六六	(一)	醫 師	一八七
(四)	小學校兒童ノ一	一六七	(二)	産婆及鍼灸治	一八八
(五)	全上ノ二	一六八	(三)	藥種商及賣藥類外藥類	一八九
(六)	就學及出席歩合累年比較	一六九	(四)	死亡者病類別	一九一
(七)	中等以上ノ教育ヲ受ケル者	一七〇	(五)	死亡者年齡別	一九二

- (六) 傳染病患者及死亡者
- (七) 病院
- (八) 傳染病院及隔離病舎

一九四
一九五
一九六

明治四十三年

島根縣隱岐島統計書

第一門 土地

地勢

明治四十三年十二月三十一日

隱岐國ハ出雲國ノ正北海ニアリ主要ナル島嶼四箇ヲ以テ成ル其西南ニ鼎立セル三島(西島、中島、知夫里島)ヲ島前ト稱シ東北ナル一島ヲ島後ト稱ス前後二島ノ相距ル最近キ處六海里小嶼其間ニ葦布シ以テ十數里ニ亘ル島内山多ク平曠ノ地ハ十中ノ奇零二ノミ其山地ハ能ク樹木ヲ生育スト雖モ沿海ノ地ハ礫确ニシテ斥鹵タリ本地ニ最近ノ地ハ島前知夫里島ニシテ出雲國八束郡多古鼻ヲ距ル二十三海里三離ナリ管内ヲ周吉、穩地、海士、知夫ノ四郡及竹島ニ分ツ○周吉郡 島後ニアリ東南海ニ面シ西北ハ穩地郡ニ背ス○穩地郡 島後ニアリ東南周吉郡ニ界シ西南ハ海峽ヲ隔テ、島前中島ニ對シ北ヨリ西ニ斜ニ海洋ニ濱ス○海士郡 島前中島ノ全部ヲ成シ北方島後ノ穩地郡ニ對シ西南ハ湖水ヲ隔テ、西島及知夫里島ニ臨ム○知夫郡 島前ノ西島及知夫里島ヲ以テ成リ東南中島ヲ掩ヒ北西南ノ三面ハ海洋ニ濱ス○竹島 東南隱岐本島ノ西端ヲ距ルコト八十五海里西北ハ朝鮮鬱陵島ト相對ス日本海西南隅

ノ小嶼ナリ

(一) 沿革

隱岐島、維新前ハ幕府ノ管領ニ屬シテ松江藩之ヲ附託セラレ周吉郡西郷及知夫郡別府ニ陣屋ヲ設ケ郡代、代官ヲ置テ之ヲ管理セリ。○明治元年十一月鳥取藩ニ屬シ西郷ニ出張所ヲ置ク。○明治二年二月隱岐縣ヲ置テ全島ヲ管轄ス。○同年八月隱岐縣ヲ廢シテ大森縣ニ合併セララル。○明治三年正月大森縣ヲ廢シ濱田縣ヲ置カレ其管轄ニ屬ス。○明治九年八月鳥取縣ヲ置カレ之レニ屬ス。○同年十二月鳥取縣ノ管轄ニ屬ス。○明治十一年六月從來ノ郡役所ヲ廢シ隱岐島廳ヲ西郷ニ置カル。○明治三十七年四月隱岐國從來ノ三町五十村ヲ廢合シテ一町十一村トナシ同年五月隱岐國町村制度ヲ施行セラル。○明治三十八年二月竹島ヲ隱岐島司ノ所管ト定メラル。○明治十二年郡區改正以來歷代ノ郡長、島司左ノ如シ

周吉種地海士知夫郡長

自明治十二年一月	至十八年八月	鳥取縣士族	高島士
自同十八年八月	至二十年十一月	佐賀縣士族	中隈輝雄
自同廿年十一月	至廿一年四月	鳥根縣士族	伊藤石介

隱岐島司

自明治廿一年四月廿一日	至廿三年七月卅一日	鳥根縣士族	伊藤藤石
自同二十三年八月一日	至三十年四月廿六日	鳥根縣平民	舊姓赤間田越城
自同三十年五月十日	至三十一年四月六日	山形縣士族	木村信實
自同三十一年四月六日	至三十二年三月六日	東京府平民	伊志田友方
自同三十二年三月六日	至卅六年一月廿八日	大分縣平民	阿坂多一耶
自同卅六年一月廿八日	至四十二年三月卅日	山口縣士族	東文輔
自同四十二年三月卅日		鳥根縣士族	村上壽夫

(三) 經緯度極點

明治四十三年十二月三十一日

島名	經度	緯度	極點
西郷町大字西町	西經 六・二五・〇四	北緯 三六・二二・〇六	極東 東郷村大字 大久
	西經 六・二五・〇四	北緯 三六・二二・〇六	極西 知夫村ノ内西ノ島
	西經 六・二二・三六	北緯 三五・五九・三〇	極南 知夫村
	西經 六・四八・〇二	北緯 三五・一〇・〇一	極北 中村大字西村

(四) 面積周圍及廣袤

明治四十三年十二月三十一日

島名	面積	周圍	方位	廣袤
隱岐島	三三・二九	七四里	東 知夫村 西 布施村大字卯敷村	南 知夫村 北 中村大字西村

島	周	稔	海	知	竹
郡	吉	地	士	夫	島
積	八・八二	方里	二・三	四・四九	三・六
周	島後	島前	島前	島前	島前
方位	西東	西東	西東	西東	西東
地名	布施村大字卯敷	都万村大字嶋木	五箇村大字郡	全村大字福井	海士村大字知々井
里	三・三四	三・二	二・二	二・〇	?
方位	北南	北南	北南	北南	北南
地名	中村大字今津	都万村大字都万	五箇村大字久見	海士村大字嶋	全村大字受賀
里	五・一八	四・三四	三・〇	五・二	?
程					

(五) 氣 温 (攝氏)

觀測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
島根縣農事試驗場八田分場	六・九度	五・四度	七・五度	一三・八度	一八・五度	二三・三度	二五・六度	二六・七度	二三・七度	一八・四度	一三・二度	六・三度
五箇村役場	欠測	ク	ク	一五・四度	二〇・四度	欠測	ク	ク	ク	ク	ク	ク
浦郷村役場	七・二度	四・八度	七・二度	二二・五度	一七・三度	二二・四度	二四・四度	二六・四度	二二・六度	一七・七度	一三・四度	七・二度

備考 氣温ハ毎日ノ最高最低氣温ノ平均ニ依ル

(六) 天 氣

觀測所	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
島根縣農事試驗場八田分場	三〇	一五〇	二四	全	二	三九	二八	二七	三	全	全	二
五箇村役場	欠測	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
浦郷村役場	三八	一九	三	一	一五	七五	一九六	四	全	全	全	一

備考 雨天トハ雨雪霰等ノ何タルニ拘ラス降水量ガ一耗ノ十分ノ一アリシ日ニシテ本表ノ快晴並ニ曇天ハ降水ノ有無ニ拘ラス單ニ午前十時ニ依リ區別シ其量ニ以下ヲ快晴トシ八以上ヲ曇天トス。雪霰ハ其量ノ多少ニ拘ラス單ニ該現象アリシ日ヲ計上ス

(七) 山 嶽

名 稱	主ナル所屬地名	海面ヨリノ高	主ナル登山口ノ地名	山頂ノ里程
摩尼山一名大満寺山	中條村大字有木	二、〇〇〇	中條村大字有木	一、三〇
鷲ヶ峯	布施村大字布施	八三	布施村大字布施	一、〇七
葛尾山	中條村大字元屋	八〇	中條村大字元屋	一、〇七
時張山	中條村大字原田	七〇	中條村大字原田	一、〇七
横尾山	都万村大字那久	六〇	都万村大字那久	一、〇七

明治四十三年十二月三十一日

144
60土

大正元
大正之

年八月十八日印刷
年八月二十日發行

島根縣隱岐島廳

島根縣松江市天神四十番地

印刷者 秦慶之助

島根縣松江市殿町三百八十三番地

印刷所 松陽新報社

終